



## 若宮とうふ

昭和25年頃に建てられた5連のノコギリ屋根工場のうち東側の3連を利用している。

以前はこの工場で縫製業を営んでいたが、平成7年春に豆腐料理の店として開店、飲食店への転用の先駆けと言える。ノコギリ屋根の特徴を生かし、店内からノコギリ屋根の形が見えるようにし、北側採光もそのまま自然に取り入れられている。高い天井からは柔らかい光が降り注ぎ、店内中央には囲炉裏を配して、懐かしい雰囲気の中で食事が楽しめる。

平成16年に西側の1連を改修し、店舗を広げた。天井には養蚕籠、壁には柿渋を塗った和紙、古民家の障子や梁を再利用したこだわりの空間を造り、魅力を加えた。最近では、さらに西側の1連を通路として活用し、店舗裏の駐車場から正面の入口までを繋ぐ渡り廊下のようにになっている。

東地区は、産業観光ルートが確立しつつあるが、外来客にとっては格好の食事処として喜ばれている。豆と水にとことんこだわった豆腐料理は“絶品”と評価は高く、グルメ雑誌にも紹介され、この雰囲気と料理を目当てに再訪するお客が多い。懐かしい故郷を感じさせる風景である。



所在地 桐生市東5-4-31  
代表者 佐々木 綾子